

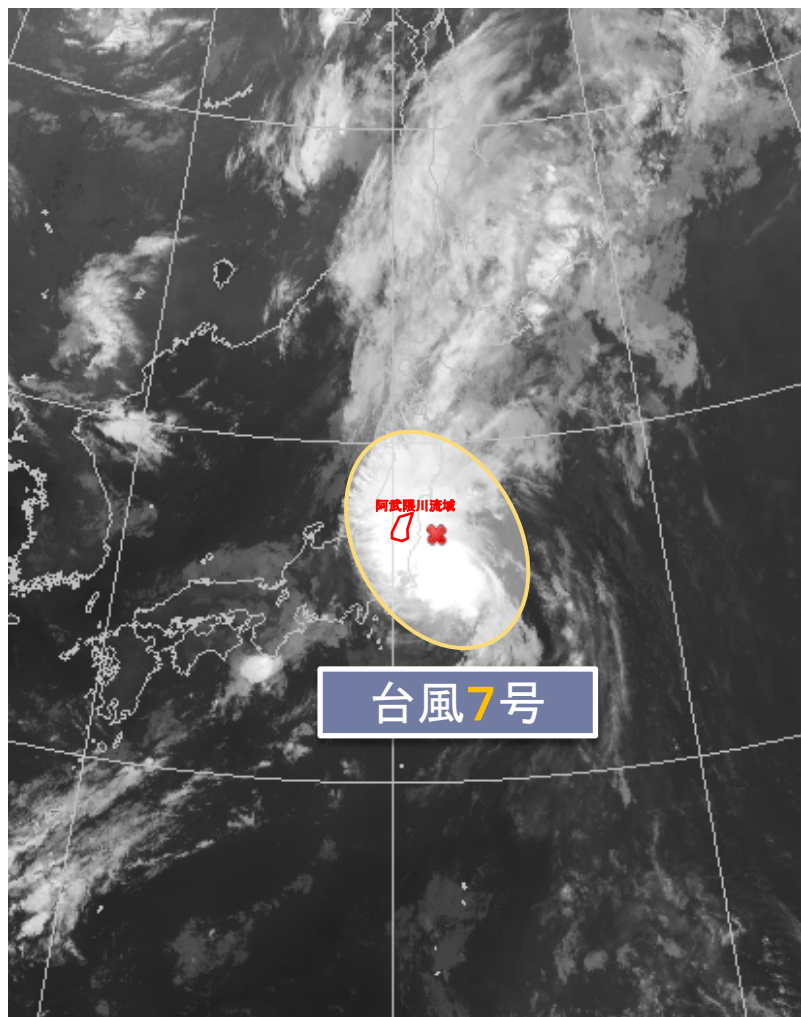
**平成28年8月
台風7号, 9号, 10号への対応**

国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所

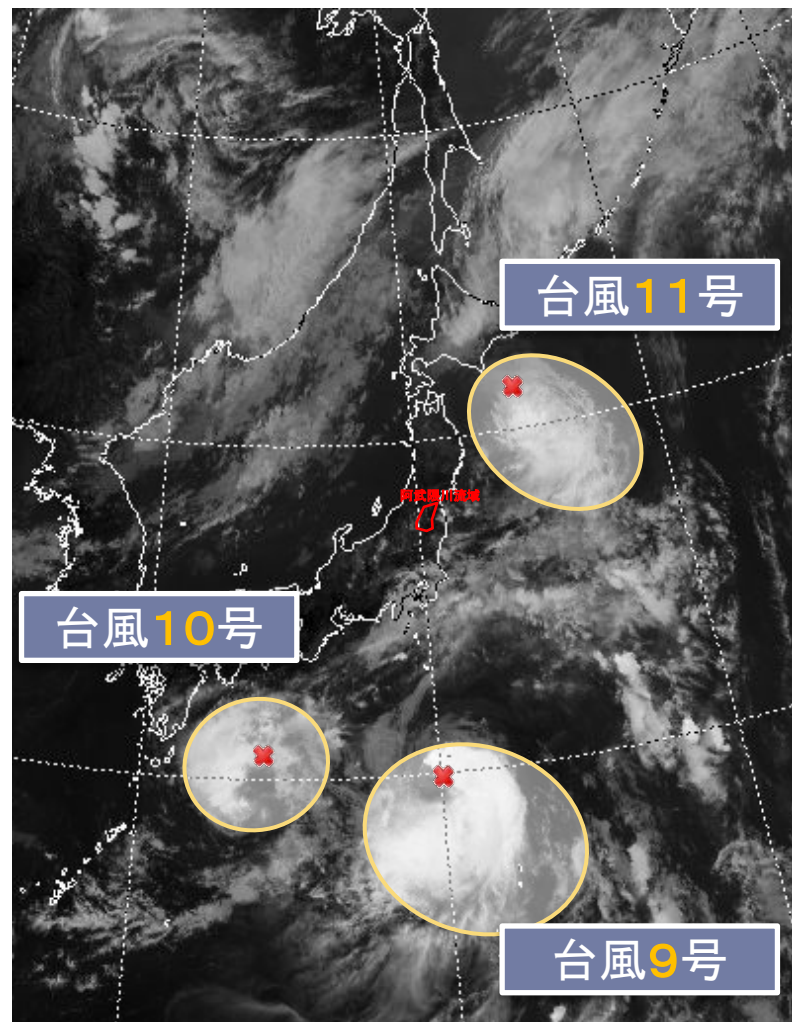
平成28年8月台風対応「1. 台風の概況」

平成28年8月は、台風7号,9号,11号等が次々と阿武隈川上流域(福島県)に接近し、大雨に伴う河川水位の上昇に備えるため、流域関係機関と連携しながら出水対応を実施。

※台風10号は30日18時頃に、昭和26年の統計開始以降、初めて東北地方太平洋側(岩手県大船渡市付近)に上陸。



8月17日 3:00の衛星画像

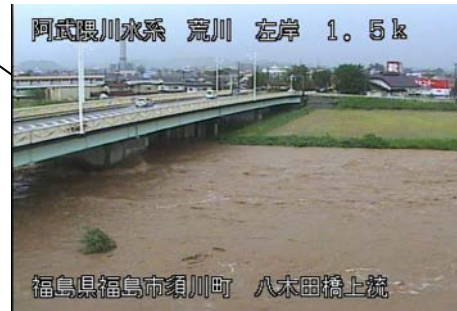
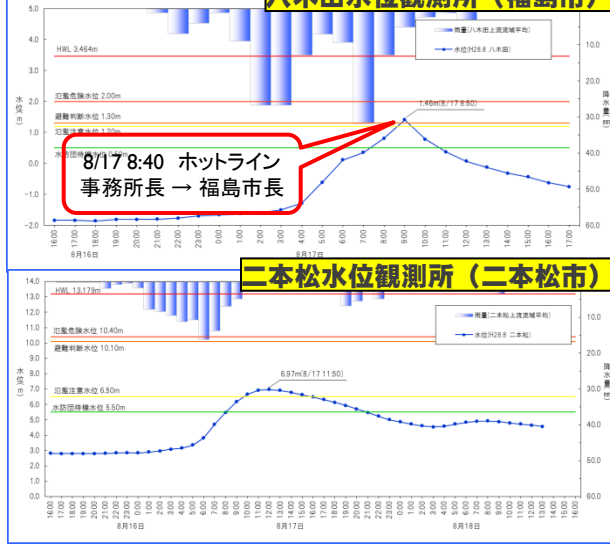
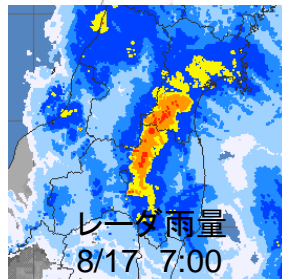


8月21日 6:00の衛星画像

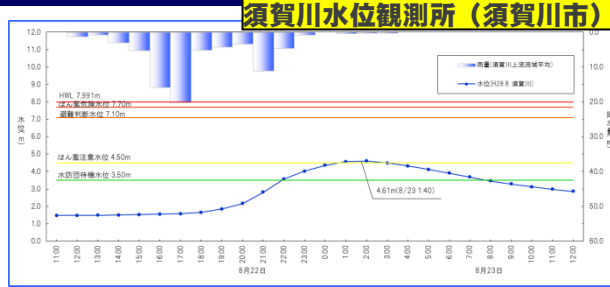
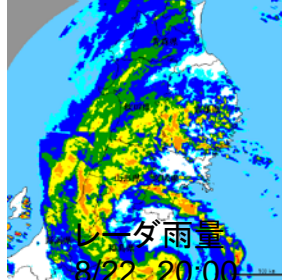
平成28年8月台風対応「2. 氾濫注意水位を超えた観測所」

台風7・9号により、須賀川・二本松・八木田の3観測所で**氾濫注意水位を超過**。特に台風7号は荒川で**避難判断水位**を超え、福島市長へのホットライン等、密な連絡を取りながら対応。

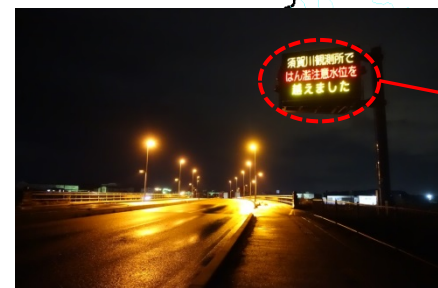
8/17 台風7号による出水



8/22 台風9号による出水



河川情報表示板による情報提供



須賀川観測所でははん濫注意水位を越えました

8/30 台風10号による出水

氾濫注意水位を超えた水位観測所はなかった。

平成28年8月台風対応「3. 減災協議会の活用と自治体連携」

○阿武隈川上流(福島)では、流域の関係機関と**水防災意識再構築**のための取組を推進中
○協議会の仕組みも活用し、**出水前**や**出水中**の危機管理対応を関係機関と協力して実施。

◆ 出水前の備え

福島地方気象台「台風説明会」



気象台の説明会資料や情報を協議会メンバーに国から情報提供し、台風に備える。

第1回「減災対策協議会」



阿武隈川の洪水特性やホットライン、リエゾン等について市町村長へ事前説明。

◆ 出水中の対応

福島市長へのホットライン



事務所長から福島市長に直接連絡し、川の水位状況、今後の予測等を助言。



： 実際に対応した台風

福島市へのリエゾン派遣



要請を受け、福島市にリエゾンを派遣し、互いの情報連絡を円滑に実施。

防災エキスパートの活用



台風対応にあたり、防災エキスパートによる技術的指導・助言を頂きながら対応に当たったほか、出水中の河川巡視や水防活動に加え、排水ポンプ車等による排水活動を適時に実施。

河川巡視,水防活動



排水施設稼働



※全ての台風で、洪水タイムラインに基づき、基準水位を超過した自治体・関係機関と密に連携(洪水予報、水防警報、水位予測等)を図りながら対応。
※台風9号では、「川の防災情報」システムダウンという不足の事態に対しても、協議会メンバーに「統一河川の水位情報」を事務所からメール定期配信。

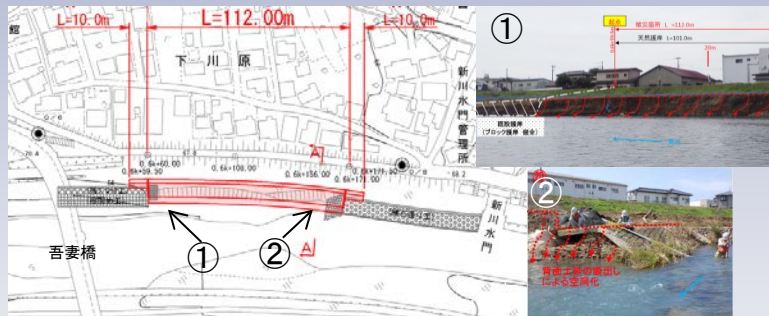
平成28年8月台風対応「4. 災害復旧事業の効果（阿武隈川水系荒川）」

平成27年9月洪水後の**災害復旧事業の実施効果により**、平成28年台風7号では被害が生じた平成27年洪水の**約1.2倍のピーク水位**※であったにもかかわらず、**同箇所での再度災害防止を図る**ことができました。

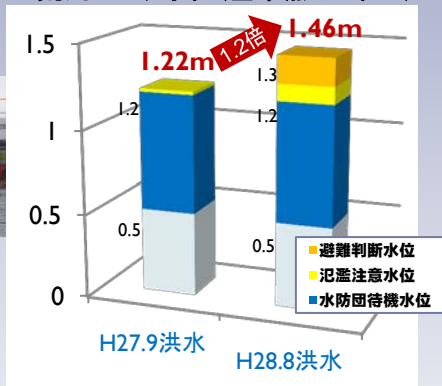
1. 被災の概要



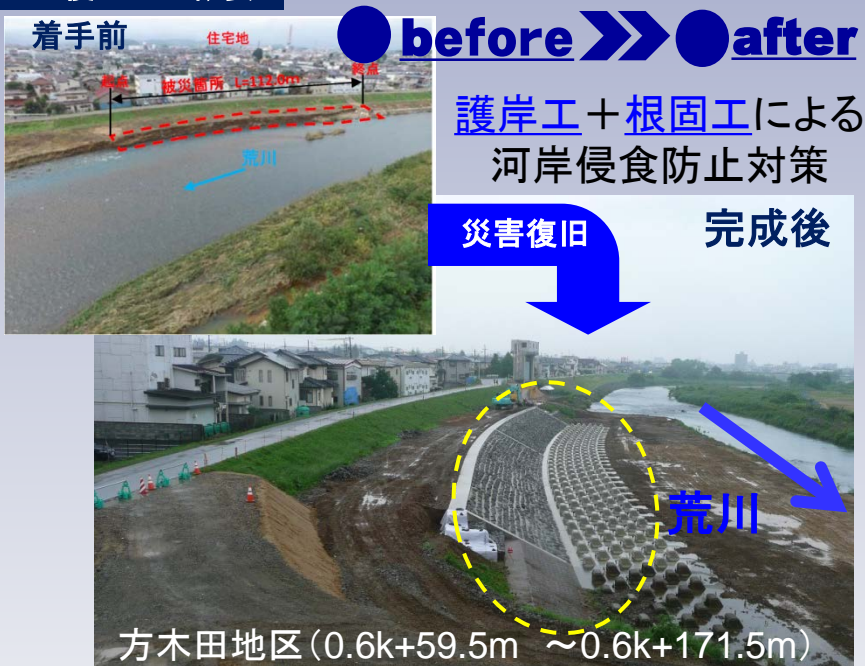
■要因: 被災箇所は、河岸区間の水衝部であり、H27年9月出水により、**河岸侵食が発生・進行し、河岸崩壊**。



■荒川ピーク水位(基準点:八木田)



2. 復旧工の概要



3. 事業の効果



※荒川の基準点「八木田水位観測所」における水位が「避難判断水位」を超過